

## 令和2年度第8回Web理事会報告

日時：令和3年1月14日(木)

14:15～16:45

場所 Web会議

出席者 八木原会長、亀山、平山、丸各副会長、尾形専務理事、小野寺、水島、合田各常務理事、相良、蛭田、町田、村岡、村上、山口、水村、前田、六角、唐木、古賀、山本、古林、小日向、安藤各理事  
中島、古屋各監事

同席者 安井強化委員長

### 1. 開 会

冒頭、八木原会長から「明日は小正月です。緊急事態宣言で大変ですが、温かくなれば今回の措置の効果が出て収まることを期待します。今年は役員改選があります。オンライン会議でなかなか思うように進められませんが、皆さんの協力を得て進めていきたいと思っております。」と挨拶。

事務局長から理事23名、監事2名の出席と安井強化委員長の同席が確認され、事務局長がオンライン会議のホストを務めて議事に入った。

### 2. 議 題

#### (1) 議案第1号 議事録の承認について

2020年度第7回理事会議事録の承認について(事前送付済)

異議なく承認された。

#### (2) 議案第2号 緊急事態宣言下の山岳4団体共同声明の発出及び研修会、大会等の開催について

最初に村岡理事から2週間後に迫った第16回BJCについて資料に基づき説明があった。感染防止対策等を十分にいき、予定通り開催したいとのこと。それに対して医学的見地から開催延期の意見があった。参加選手の状況・心理・意識についても確認がなされた。行政指導により参加できなくなった選手の配慮についても確認がなされ

た。

続いて感染防止対策等の諸条件を満たす努力をしたうえでの開催可否について採決に入った。結果として賛成19、反対3(丸副会長、六角理事、蛭田理事)、棄権0で、第16回BJCは1月30日～31日に開催することが承認された。PCR検査を行うかどうかについては検討することになった。(その後PCR検査をすることになった。)

次に第34回LJC開催に話が移り、これも各種意見が出たが、現段階の条件では、ということで3月26日(金)～28日(日)に延期することが承認された。

以上の結果を踏まえて、山岳4団体の共同声明の呼びかけはしないことになった。

1月23日(土)～24日(日)に予定されているJSP0からの委嘱事業で、JMCSAが東京都山岳連盟に委嘱した公認スポーツ指導者コーチ1養成講習会の開催については、常務理事会の決議通り、先ずJSP0に確認することになった。

#### (3) 議案第3号 日本グランプリ候補者の推薦について

該当者無しで、推薦は見送られた。

#### (4) 議案第4号 令和4年勲章及び褒章候補の推薦について

該当者無しで、推薦は見送られた。

#### (5) 議案第5号 指導員認定について

指導委員会から提案があった下記の方々の認定が承認された。

##### ア) 主任検定員の認定

①新規受講者：新原祐治(宮崎)

②更新受講者：坂口仁治(山口)、寺崎良夫(福岡)、以上3名

イ)JMCSA公認夏山リーダー資格の認定(神奈川県にて開催)

長谷川誠二、伊藤拓美、諸岡功一、神谷敏裕、水谷公洋、石川由佳子、種田理恵 吉川宏道、瀬川 宏、 以上9名

ウ) SC コーチ1 認定

①長野県山岳協会 (以下2名)

京屋 仁、堀本昌利

②福岡県山岳連盟 (以下6名)

赤瀬恵三、大塚佐恵子、富久勝司、三浦隆太、三重野敦、宮原敏明

### 3. 報 告

#### (1) 報告第1号 12月度月次会計報告

相良理事より資料に基づいて報告があった。

#### (2) 報告第2号 中期計画PT途中経緯について

亀山副会長よりパブリックコメントの回答を頂いた団体名・委員会名・コーチについて報告があった。

#### (3) 報告第3号 CAS判断説明について

合田常務理事から現状について報告があった。IFSCとは早めに話し合いを持ち、元の状態に戻すことが確認された。

#### (4) 報告第4号 国内旅行傷害保険包括契約について

尾形専務理事から説明があった。ガバナンス委員会で、共催事業の責任問題について協議して貰ったが、やはり難しいとの見解であった。

そこで、再度、損保会社に本協会の加盟団体の主催事業について国内旅行傷害保険の包括契約を結べないかを交渉した結果、本協会が付保を希望する加盟団体の主催事業をきちんと把握できるのであれば締結可能との回答を得た。

2月の全国理事長会議において「加盟団体の事業計画に基づいて包括保険の付保ができる」旨を提案する。

#### (5) 報告第5号 第3回CJC報告について

村岡理事から資料に基づき報告があった。

#### (6) 報告第6号 創立60周年記念特別功勞表彰者

小野寺常務理事から提案資料に基づき報告があった。前回より少し表彰者が増えた。

感謝状贈呈については八海醸造が追加された。

(7)報告第7号 次期役員候補者推薦依頼について

尾形専務理事から資料に基づいて報告があった。次期役員候補者の推薦については、

ガバナンスコードを踏まえた推薦依頼が望ましいとの意見があった。

(8)報告第8号 福井岳連からの後援依頼の承認について

小野寺常務理事から資料に基づいて報告があった。

(9)報告第9号 岡山岳連からの要望書(ブロック別研修会)について

年に1度の審判員研修が登録更新の義務になっているが、コロナ禍の時期でもありガバナンス委員会で特例措置を検討し、1月末までに要望書の回答をまとめることになった。長野県山岳協会からも同様の要請があった。

(10)報告第10号 2021年スポーツライミング国際競技大会派遣選考基準について

合田常務理事から報告があった。

(11)報告第11号 第2期JMSCAパリオリピック強化選手選考について

合田常務理事から報告があった。古林理事から補足があった。

(12)報告第12号 第1期JMSCAパリオリピック強化選手の承認について

合田常務理事から報告があった。

(13)報告第13号 2021年IFSC役員/委員立候補者推薦について

小野寺常務理事より説明があった。資料に基づきスポーツライミングのNFとしてIFSC等への立候補者を推薦することの

報告であった。

立候補者は、IFSC 副会長・小日向徹、コーチ委員会・西谷善子、倫理委員会・星多賀子、ACC 副会長・水村信二。

(14)報告第14号 2020年度後期海外登山奨励金交付登山隊の選考について

選考委員会から以下の2隊について答申があり、常務理事会で承認されたと報告があった。

①2021 ガッシャーブルムVI峰登山隊(交付額30万円)

②Giri Giri Boys K7中央峰 Expedition 2021(交付額40万円)

(15)報告第15号 強化委員会ブロック代表コーチ等報告

古林理事から資料に基づいて報告があった。

4. 役員派遣について

(1)月15日(金)~2月15日(月)

IFSC 打ち合わせ 1月16日(土)~21日(木)  
於: ローザンヌ 小日向理事

(2)国立登山研修所専門調査委員会 1月18日(月) 於: オンライン 尾形専務理事

(3)令和3年度外務省スポーツ外交推進事業説明会 1月19日(火)

於: オンライン 小野寺常務理事、水村理事

(4)JOC 第2回専務理事会議 1月21日(木)  
於: Web 尾形専務理事

(5)第16回ボルダリングジャパンカップ 1月30日(土)~31日(日) 於: 駒沢オリ

ピック公園屋内球技場 八木原会長他

(6)JOC 評議委員会 2月3日(水)

於: JSOS ビル14F 八木原会長  
(7)ジュニア・普及情報交換会 2月13日(土) 於: オンライン 八木原会長他

(8)全国理事長会議 2月14日(日) 於: オンライン 八木原会長他